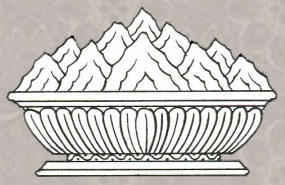

巡礼その三十八　奈良２

2011 年 12 月 28 日

大掃除後、ラ・ボエムで夕食会、22 時に新宿へ行き 23 時 15 分の夜行バスで奈良へ。年末で道路が混んでいるので中央自動車道を使ったため、30 分遅れで近鉄奈良駅に着く。マクドナルドでホットドック食べ、レンタカーを借りて唐招提寺へ行く。開門五分前に着く。何度訪れてもワクワクする大好きな寺である。続いて薬師寺に行く。駐車場から休ヶ岡八幡宮を見学して薬師寺へ。東塔は修理中で今回の目的の本尊の台座と仏足石を写す。台座はミステリアスで素晴らしい。次の法隆寺へ行く。見学していたらお昼になったので、駐車場でもらったサービス券を持って南大門の前の店でカツ丼とウドンのセットを食べる。美味しい。王寺町へ行き達磨寺の八角石柱と聖徳大師の愛犬雪丸の石像を見る。近くの白瓜大日堂があり、自然石に阿弥陀如来が彫られているがよく解らない。正楽寺も近くにあるが見つからず、地元の人に聞いて民家を抜けた奥まった所にあった。石棺に阿弥陀如来を彫ったものが安置されている。山王神社には宝冠を着けた弥勒菩薩が安置されているが、保存状態が良くないので異国の彫刻に見える。次の當麻寺は時間がないので鹿谷寺跡へ行く。駐車場から結構急な山道を 10 分ほど登る。とても良いハイキングコースである。岩場の間に小さな平地があり、奈良時代と思われる十三重石塔と奥の壁に線刻三尊仏が彫られている広場がある。ここが鹿谷寺跡である。叡福寺は聖徳太子の墓所とされる古墳があるとても立派な寺院で石塔や石仏などがある。道路を隔てた反対側に西方院があり、ここに層塔と大師の乳母であった三人の石塔が安置されている。今日の見学はここまでで、奈良市内の平城宮にある「かんぼの宿奈良」に向かう。カーナビに従ったら高速で大阪に出て何度も高速を乗り換え 2000 円もかかってしまった。ここは市内なのに温泉があり露天風呂もある。チェックインしてすぐに風呂へ行く。前は平城宮なので広々としていてとても

落ち着く。18 時 30 分に夕食、フグ料理である。フグ皮ポン酢ジュレ、ひれ酒、ふぐ刺しとマグロとエビのお造り、茶碗蒸し、フグチリ、フグの唐揚げ、雑炊、デザートで満足し、９時半に消灯。

12 月 29 日

５時 30 分起床、風呂へ行く。７時 15 分食堂へ行くが 10 分待つ。肉団子の煮物、ゴーヤ、ナポリタン、ソーセージ、とろろメカブ、シュウマイ、切り干し大根などを食べ杏仁豆腐、コーヒーを飲む。８時出発、今日は月ヶ瀬方面へ行く。木津川の動観音へ十一面観音を見に行く。ここから月ヶ瀬までは遠い。景色はとても良い。桃ヶ野の善法寺は山の上にあり道が細い。ここから見る湖は素晴らしい。十三重石塔を見て歩いて多尊磨崖石仏群を見に行く。町の中の巨岩に彫られている。すぐそばに重文の菊屋家野住宅があるので見学する。柳生へ行く途中に邑地町磨崖仏がある。桃ケ野の磨崖仏とよく似ている。まずアタヤ（阿対）の石仏へ行く。鎌倉時代後期の阿弥陀立像磨崖仏が川の向うの遊歩道の岩に彫られている。柳生氏の菩提寺である芳徳寺へ行くがチュウシャ料金が 600 円もするのでパスする。町外れの遊歩道へ行き、寝仏、六地蔵磨崖仏、ほうそう地蔵を見る。ほうそう地蔵の岩に有名な正長の土一揆の碑文が彫られている。

阪原北出橋の白砂川の東岸に阿弥陀磨崖仏が素晴らしいロケーションの中に彫られている。近くに「足いた地蔵」が安置されている。阪原の町にある南明寺へ行き十三重石塔と宝篋印塔を見る。本堂はシンプルで美しい（重文）。次の上出阿弥陀磨崖仏が大変であった。まずカーナビに入れた住所が違っていて地元の人に聞く。それでもわからず当たりをつけた村へ行き、村のオジさんに聞いてやっとわかった。車を停め、旧柳生街道を 15 分ほど歩くとカーブした場所がありそこの裏側にあった。とても良い道で当時の雰囲気が残っている。おそらく昔も今も変わっていない。途中で円成寺に抜ける細い道があった。円成寺はいつ来ても良い落ち着いたお寺で今回は石仏が目的である。本堂の西側に室町時代の３体の石仏がある。平安時代後期の十三重石塔もある。奈良市内へ戻り東大寺へ行く。市営駐車場に車を停め南大門のすぐ隣の東京庵本店でトンカツ定食を食べる。大仏殿を見て東大寺ミュージアムへ行く。コーヒーを飲んで誕生仏と月光菩薩を買う。仏願寺へ行って阿弥陀石仏を見て二条辻地蔵石仏へ。この石仏は道路の中央にあり、ここを避けて道が通っている。「かんぽの宿奈良」

へ戻り風呂へ行く。屋上にある展望室からライトアップされた平城宮を見る。夕食はステーキディナーにする。前回も食べたがとても美味しくリーズナブルである。ギフトショップで「もみじ柿」4 本と大仏のボールペン、クマのバッグを買う。9時に消灯。

12 月 31 日

5時起床、6時に風呂へ行く。冬の朝の露天風呂は最高。7時 15 分朝食、今日は焼きそばをメインにする。8時出発、稲葉谷へ行者磨崖仏を見に行く。住宅の中に巨大な岩がありその岩に彫られている。岩蔵寺行者磨崖仏はカーナビに入れたが間違っていたみたいでとんでもない所へ行ってしまう。何とか見つけて石段を上るとそこは修験者の道場みたいになっており、おそらく新興の宗教の場になっていると思われる。不思議な場所で行者磨崖仏と種子十三仏板碑があった。次の行者の森は整地されなくなっていたので1時間も探しまわってしまった。竹林寺へ行き行基の墓と五輪塔を写す。興融寺はとても狭い道を入っていく。途中で車を停めて歩く。とても古い五輪塔と十三仏板碑がある。円福寺は道の突き当たりにあり駐車場もある。石段を上ると重文の本堂と素晴らしい宝篋印塔が2基ある。大福寺はとても小さな寺で石仏の十三仏板碑がある。近くに大きな石に仏が彫られた大門磨崖仏がある。これからいよいよ暗峠（国道 308 号線）で日本一狭い国道と言われている（車がすれ違えない）。大門から少し登ると大きな道にぶつかる。これが暗峠への道で西畑までは広くて良い道である。道が極端に狭くなる所に石仏群があり、高い所に行者磨崖仏があり、阿弥陀磨崖仏がある。ここから戻って大福寺からの道とぶつかっているあたりが藤尾峠であるが阿弥陀如来像が安置されている覆い屋が見つからない。また極端に狭い道に戻り集落を抜ける。対向車が来たら終わりである。途中で集落の人に聞くとこの下 500m の所にあると言う。注意しながら1km ほど降りても見つからない。対向車がいつ来るかヒヤヒヤである。仕方がないのでもう一度藤尾峠まで登る。すると横に通行止めになった古い道がある。もしやと思って歩いていくと覆い屋が見える。やっと石像阿弥陀如来像があった。また怖い思いをして峠を下り平群谷へ行く。千光寺の標識があり、そっちへ行くと鳴川に出た。大きな駐車場があり案内板がある。鳴川清滝石仏群には歩いていけと書いてある。磨崖仏の標識があり沢に下ると橋があり、川の向うの岩に磨崖仏が彫ってある。写真を撮っていると大きな縄を運ぶ人々が来る。橋のあたりで

縄を張りはじめた。これは新年の行事である勧請縄を張っていたのだ。写真を撮っているとオジさんに声をかけられた。オジさんは平群観光協会の人で勧請縄を張っている写真を送ってくれないかと言うことであった。名刺とメルアドを交換し駐車場に戻る。千光寺へいく道も細くて急坂を登る。駐車場に車を停めて参道を登る。なんと参道の両側には役行者石仏が延々並んでいる。境内にある十三重石塔や石塔を写し椣原の町へ下りる。金勝寺へ行き磨崖仏、十三重石塔、五輪塔を写す。もう２時になるので「かんぽの宿平群」へ行き天ぷら定食を食べる。ウドン、エビ２本、白身魚、野菜３品が付いて 800 円である。矢田丘陵へ向かう途中偶然に椣原墓地を通り、石塔石仏を写す。つぎにむかう滝寺跡磨崖仏は早田丘陵の「山遊びの森」にあり細い道を上って行く。駐車場に止めて、池の周囲を回って 15 分ぐらい歩くと左側へ入る細い道があり看板が出ている。結構急な坂で五分ほどで覆屋の中に磨崖仏がある滝寺跡に着く。白鳳時代の磨崖仏で、摩耗しているのと内部が暗いのでよく解らない。妻が来ないので心配しながら戻ると、途中で足を挫いたらしく休んでいた。戻る途中で太い枝を見つけ杖にしながら戻る。信貴山へ行く前に妻の湿布薬を買うために王子駅へ行く。信貴山はとても広く塔頭が沢山あるのでどこへ行ったらよいのかわからない。予約したのは一番奥の一番大きい塔頭「玉蔵院」だった。社務所でチェックインの時に朝の勤行に参加するか聞かれる。なんと 5000 円もするので断る。宿望はとても立派で綺麗で暖かい。お風呂にはシャワーブースまである。夕食は６時 30 分で大広間で畳である。妻はすわれないので殿様の様な椅子を借りる。お刺身、天ぷら、照り焼き、鳥や魚が入った鍋、年越し蕎麦など盛りだくさんである。みんな美味しいが特にお米がおいしかった。９時には寝る。

１月１日

５時起床、１人で初詣に行く。まだ真っ暗で 20 歳以下の人達が多い。朝護孫子寺は懸造りで見晴らしが良い。毘沙門天を祀っているのでムカデが至る所に描かれている。境内を回り宿望に戻り６時半に祝膳（元旦の朝食）を食べる。大広間にお坊さん全員と客（80 人位）と来賓達（市議たち）で食べる。妻の席には椅子が用意されていた。お雑煮は関西風の白みそで具は京人参と大根だけで今まで食べたお雑煮で一番美味しく美しい。おかわりをお願いしたら断られた。チェックアウトして成福院の十三仏石龕を写す。南椿尾の正暦寺を目指す。

途中地蔵堂の石仏を写し、南大門跡の石仏を写す。正暦寺はとても綺麗な場所にあり、清流が流れている。秋の紅葉は奈良で一番美しいと言われており、今は南天がとても綺麗に咲いている。入口に石仏や宝篋印塔、五輪塔が並べて安置されている。境内の阿弥陀三尊石仏龕が素晴らしい。いよいよ南椿尾磨崖仏へ行く。集落の下に車を停め、けもの道の様な細い道を 15 分ほど下るととても大きな岩に仏が沢山彫られている。ほとんどが地蔵で宝篋印塔も彫られている。帰りは登りでハアハア言いながら車に戻る。柳茶屋墓地へ寄り、石仏を写す。市内に戻り念仏寺で不思議な星曼荼羅石と太山王石像（十王）を見る。奈良町へ行き、元興寺の境内の石仏を写す。境内には沢山の石仏や五輪塔が安置されている。十輪院にも寄る。お昼になったのでレンタカーを返し、「もちいど通り」の上海楼で酢豚定食、ニラレバ、餃子、カタヤキソバを食べる。時間があるので興福寺へ行き宝物館を見る。疲れたので、戒壇院のそばの芝生で休もうと思ったらどこも鹿のフンだらけであった。三条通を通って霊巌院へ行き、阿弥陀三尊石仏を写す。善哉を食べて京都から新幹線で東京へ。